デジタル地球儀「SPHERE」

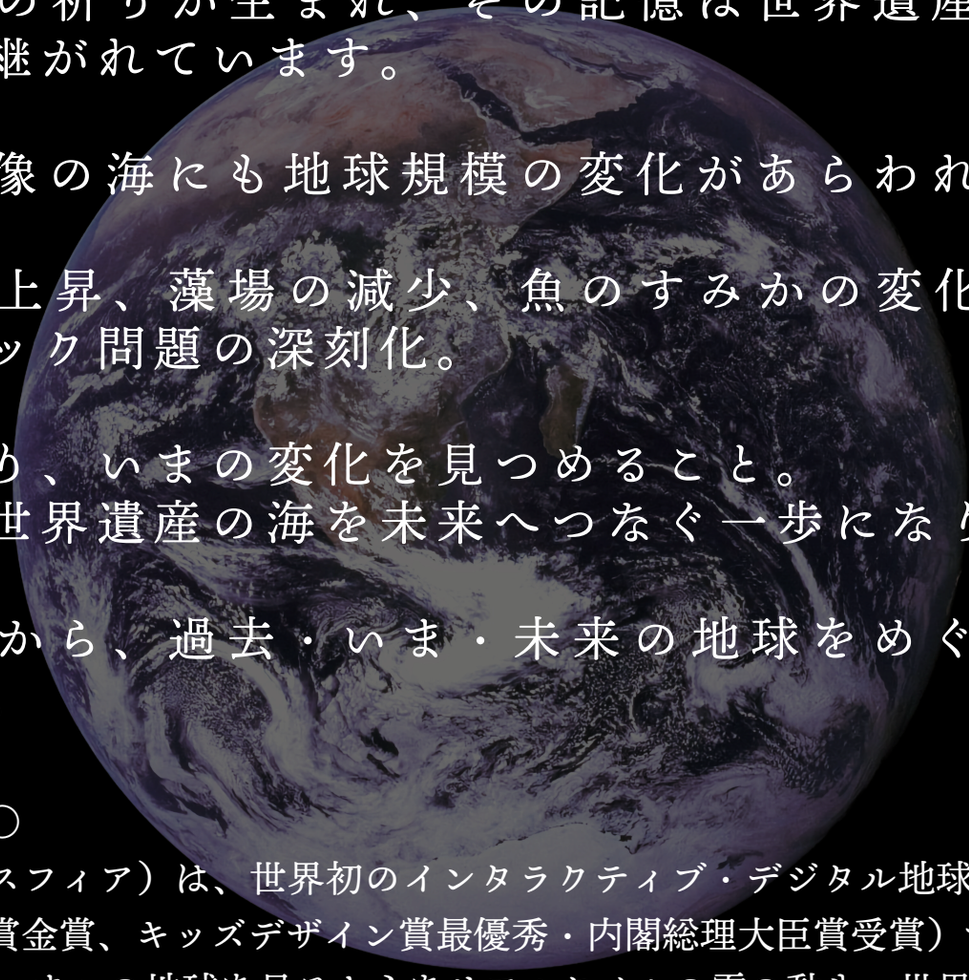
宗像の海から、地球の未来へ

古代、宗像の海は、人や文化が行き交う「海の道」でした。
沖ノ島への祈りが生まれ、その記憶は世界遺産として今に受け継がれています。

いま、宗像の海にも地球規模の変化があらわれています。
海水温の上昇、藻場の減少、魚のすみかの変化、海洋プラスチック問題の深刻化。

過去を知り、いまの変化を見つめること。
それが、世界遺産の海を未来へつなぐ一歩になります。

宗像の海から、過去・いま・未来の地球をめぐってみましょう。



○開発者より○

SPHERE（スフィア）は、世界初のインタラクティブ・デジタル地球儀（グッドデザイン賞金賞、キッズデザイン賞最優秀・内閣総理大臣賞受賞）です。

宇宙から「いま」の地球を見るようなリアルタイムの雲の動き、世界の主要都市や世界遺産のライブカメラ映像、渡り鳥やクジラの地球規模の移動、地震活動や大陸移動、地球温暖化の未来予測などを球体に表示します。

【開発者】竹村眞一
ZEN 大学教授、京都芸術大学客員教授、
Earth Literacy Program 代表

美しい海を未来へつなぐ取組へのご賛同により、このデジタル地球儀「SPHERE」は、シャボン玉石けん株式会社からご寄贈いただきました。

健康な体ときれいな水を守る。
シャボン玉石けん